



SOMPO
ホールディングス

保険の先へ、挑む。

スマートファクトリーにおける保険活用について

損害保険ジャパン株式会社
コマーシャルビジネス業務部

IoT/AIソリューションと保険

IoT/AIソリューション導入は徐々に進んでいるものと認識しておりますが、まだまだ浸透は不十分で過渡期と考えております。以下のような阻害要因に対して保険会社として貢献できる点があると考えます。

導入阻害要因例

- IoTやAIの特性上稼働率や性能は保証されず、導入決定の際に効果が不透明で決め切れない
- 予算は決まっており、導入後に追加で検査費用などの費用が想定以上にかかるのは困る
- 既存の仕組みもワークはしているのであえて変えて問題が発生しても困る
(例えば、Connected環境を前提とする新たな機器やリモートメンテナンス導入によるサイバーリスク発現など)

対策検討

- リスクの性質とリスク量の理解
- 上記に応じたIoT/AIソリューションの仕様調整や運用改善の検討
- 上記に応じた保険活用の可能性の検討

対策実施①

保険活用
本番導入前の段階で想定されるリスクについて保険活用

対策実施②

IoT/AI導入ノウハウの蓄積
データ含めて蓄積しリスクやコスト最小化

期待効果

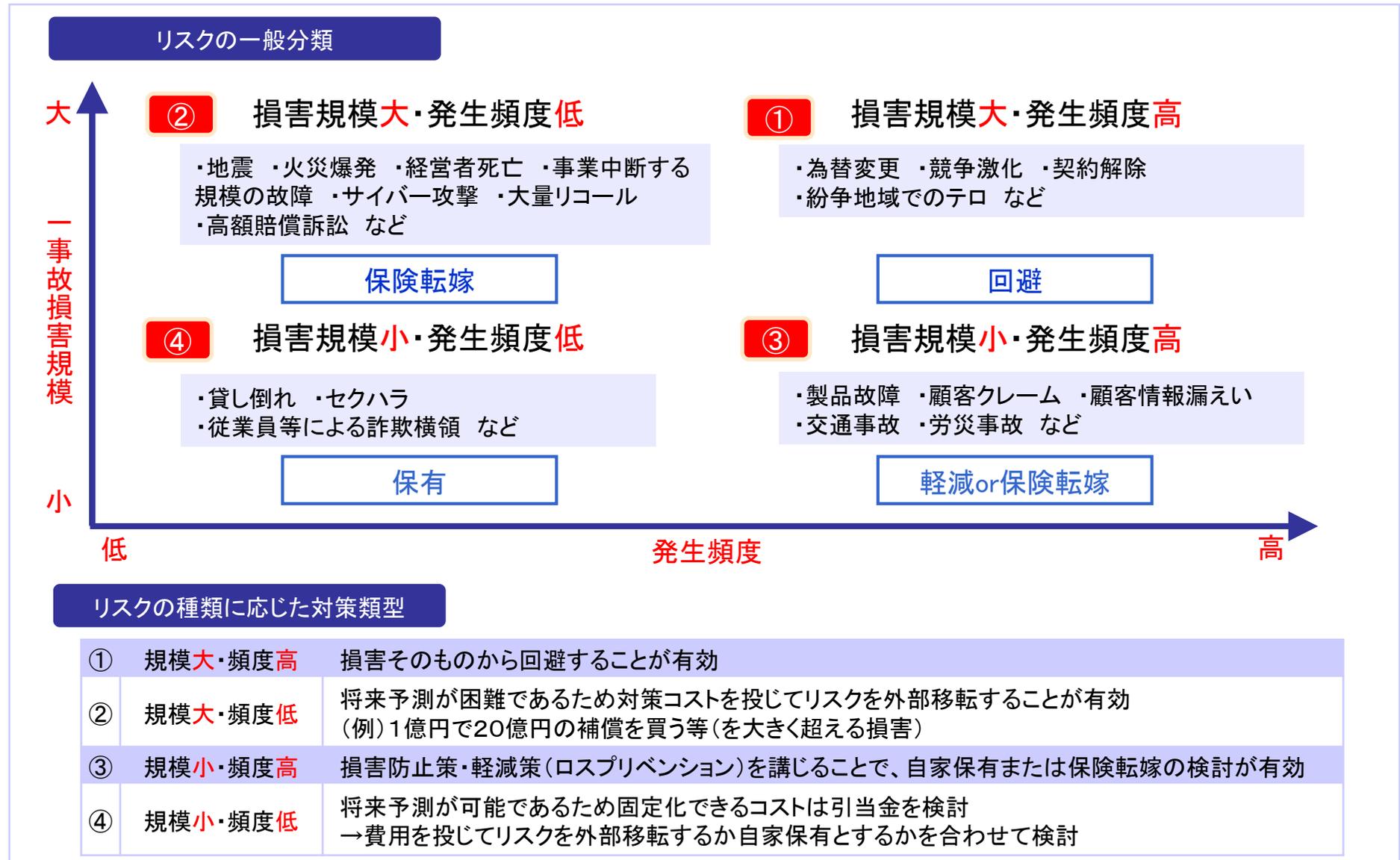
事業運営上の
リスクやコスト
の最小化

利益の最大化

- 技術とファイナンスの組み合わせで、
IoT/AIソリューション+保険コスト < 既存コストを実現
- データ、ノウハウの蓄積による新たなビジネスチャンス

リスク把握と対策

企業のリスクマネジメントにおいては、リスクの性質に応じて適切な対策を取ることが重要です。以下の表は、リスクの一般的な分類とその特徴を示したものです。



リスクごとに対応する保険商品

事業運営上のリスクは多種多様ですが、IoT/AI導入企業のニーズを含めてリスクごとにご案内する保険商品は以下のとおりです。各商品ごとにオーダーメイドでの設計になります。

		リスク	リスクに対応する商品
ビジネス連携起点	損害規模小 発生頻度高	性能リスク	性能保証保険 (効果未達によるIoT/AI導入費用返金)
		故障(予兆)リスク	故障予兆費用保険 (原因調査費用、駆けつけ費用、緊急対応費用)
リスク規模起点	損害規模大 発生頻度低	稼働停止リスク	故障予兆利益保険 (予兆検知による稼働停止時の利益補償)
		サイバーリスク	サイバー保険 (サイバーリスク発現による貴社の賠償責任などを補償)
		賠償(契約)リスク	IoT/AI賠償保険 (IoTやAIの不具合に起因して発生した損害賠償)